

## 平成22年度第3回理事会第3回合同委員会議事録

1. 日 時:平成22年9月2日(木) 12:45～14:30

2. 場 所:栃木グランドホテル「鳳凰東の間」

3. 構成員:理事 24 名、監事 2 名、合計 26 名

4. 出席者:

|       |       |         |       |       |          |
|-------|-------|---------|-------|-------|----------|
| 会 長   | 浅井 光昭 | ダンロップ   | 副 会 長 | 西村 潔  | 京阪       |
| 副 会 長 | 三治 明  | 正眼寺     | 副 会 長 | 石井 信成 | 那須野ヶ原    |
| 常務理事  | 笠原 泰夫 | 名古屋港 富浜 | 常務理事  | 加藤 義孝 | 名古屋広幡    |
| 常務理事  | 菅野 孝男 | 八千代     | 常務理事  | 林 一郎  | 千葉よみうり   |
| 常務理事  | 樋口 平和 | 大阪      | 常務理事  | 藤下 亘理 | よみうりウエスト |
| 常務理事  | 森 章次  | アオノ     | 理 事   | 小林 弘実 |          |
| 監 事   | 森田 敬  |         |       |       |          |

|       |           |      |       |       |           |
|-------|-----------|------|-------|-------|-----------|
| 特別委員  | ジム・フレッチャー | 榛名の森 | 特別委員  | 小島 俊  | セントレジャー千葉 |
| 特別委員  | 西 治彦      | 八千代  | 特別委員  | 久保田英示 | 正眼寺       |
| 特別委員  | 鶴田 浩司     | 森林公園 | 特別委員  | 高嶋 哲夫 | 西神戸       |
| 専務理事  | 島田 忠次     | 事務局  | 事業委員長 | 丸山 信久 | 事務局       |
| 事 務 局 | 中村 知則     | 事務局  | 事 務 局 | 久保 拓二 | 事務局       |
| 事 務 局 | 小山内美枝     | 事務局  |       |       |           |

以上24名(理事13名、監事1名、特別委員6名、事務局4名)

5. 会議概要:

(1)事務局より定足数について、理事会の構成員数は理事24名、監事2名、合計26名である旨の確認と、本理事会には理事13名、監事1名、合計14名の出席を得ており、定款第31条に定める成立定足数(構成員の2分の1以上の出席)を充足しており、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。

(2)次いで、浅井会長より次の通り開会挨拶があった。

本日はお忙しい中、平成22年度第3回理事会第3回合同委員会に、出席いただき有難うございます。開会に当たり一言ご挨拶致します。

先ず、足許の日本経済の状況ですが、ご承知の通りこの処先行き不透明感が広がってきています。4月から6月期の実質国内総生産、いわゆる GDP は個人消費の落ち込みから、成長率は大幅に鈍化し、景気の足を引っ張る恐れが出てきております。景気が冷え切った状況では、なかなかゴルファーの足はゴルフ場に向かないと思われ、ゴルフ業界としても、政府の早急な景気対策を望みたいと思います。

次に本年度競技ですが、パ選は既に全競技を終了、来週はミッドアマ全日本が、よみうりゴルフウエストコースで開催されます。また、シニアは10月の全日本に向けて、各地区で予選がスタートした処であります。先ずは順調に来ております。この処、参加者人数は景気の影響を受けて、減少傾向を強いられていますが、公益社団法人として生涯スポーツであるゴルフの普及振興、あるいは財務内容改善の必要性から、参加者人数の増加対策は喫緊の課題となっております。環境は極めて厳しいですが、会員一同一致団結して、清々と事業を進めたいと考えています。

(3)引き続き、浅井会長が公益社団法人日本パブリックゴルフ協会平成22年度第3回理事会第3回合同委員会の開会を宣言した。

(4)定款第30条に基づき浅井会長が議長に就任する旨の宣言、並びに議事録署名人の選任に

ついて、定款第32条に基づき森田敬監事を指名する旨、議場に諮った処満場一致で承認された。次いで、議事進行役に島田専務理事を指名し早速議事に入った。

## 6. 審議事項:

### 第1号議案:平成22年度会議・行事日程の件

藤下総務委員長より、第1号議案「平成22年度会議・行事日程の件」について、平成22年度会議・行事日程は、平成21年度第4回理事会(22.3.18)にて承認済であるが、未定会場(予算編成正副委員長会議、第5回理事会合同委員会)に関して、下記の通り提案並びに審議要請があり、原案通り議決承認された。

| 会 議           | 開催日         | 会 場                      |
|---------------|-------------|--------------------------|
| 平成22年度スポンサー会議 | 22.10.14(木) | コート・ベール徳島ゴルフクラブ(徳島県)     |
| 第3回理事会・合同委員会  | 22.11.11(木) | メルパルク名古屋(愛知県)            |
| 研修プレー         | 22.11.12(金) | 名古屋広幡ゴルフコース(愛知県)         |
| 予算編成正副委員長会議   | 23. 2.15(火) | メルパルク名古屋                 |
| 研修プレー         | 23. 2.16(水) | 中止                       |
| 財務委員会         | 23. 2.25(金) | 事務局                      |
| 第4回理事会・合同委員会  | 23. 3.17(木) | ヘアスハウ ジャパン カントリークラブ(滋賀県) |
| 研修プレー         | 23. 3.18(金) |                          |

### 第2号議案:各委員会正・副委員長交替(案)の件

### 第3号議案:特別委員委嘱(案)の件

藤下総務委員長より、第2号議案「各委員会正・副委員長交替(案)の件」について、委員会規程第6条に基づき、転勤に伴い欠員となる事業委員会副委員長の後任候補者の推薦、並びに審議要請があり、次いで第2号議案の承認を前提として、第3号議案「特別委員委嘱(案)の件」について、特別委員運用規則第1条2に基づき、小野和彦新事業委員会副委員長に特別委員を委嘱したい旨の提案があり、第2号第3号議案を一括して議場に諮ったところ、原案通り議決承認された。

|       |      | 新         | 旧         | 推薦地区 |
|-------|------|-----------|-----------|------|
| 事業委員会 | 副委員長 | 小野和彦 (小松) | 木暮賢一 (小杉) | 中部日本 |

### 第4号議案:事業承継承認の件

藤下総務委員長より、第4号議案「事業承継承認の件」について、ナクア白神ゴルフコースより、営業譲渡による経営主体交替の届け出があり、「会員の入会・退会等に関する規程」第6条3項に基づき、新経営会社の会員資格の承継、並びに入会金・本年度年会費の全額免除の特例措置に関して提案、並びに審議要請があり原案通り議決承認された。

#### 1. ナクア白神ゴルフコース :青森県西津軽郡鰺ヶ沢町鰺ヶ沢高原

|        | 旧                            | 新                        |
|--------|------------------------------|--------------------------|
| 経営会社   | ウィンターガーデンリゾート株式会社            | 青森リゾート株式会社               |
| 所在地    | 東京都港区赤坂 5-2-39<br>円通寺ガ德里ウスビル | 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字長平町字西岩木山 75 |
| 代表者    | 代表取締役 川合 宏一                  | 代表取締役 高橋 浩康              |
| 会員第代表者 | 総支配人 高橋 浩康                   | 取締役支配人 加藤 恭雄             |
| 変更年月日  | 平成22年7月1日                    |                          |

### 第5号議案:平成23年度地区決勝・全日本開催会場の件

丸山事業委員長より、第5号議案「平成23年度地区決勝・全日本開催会場の件」について、平成23年度競技日程は、平成22年度第1回理事会(22.6.14)にて承認済であるが、最終的に各地区より下記の通り提案があった旨、並びに審議要請があり原案通り議決承認された。

なお、平成23年度ミッドアマ東日本B地区決勝会場(東京よみうり)、平成23年度以降シニア3競技の同日同一会場開催、並びに競技方法変更に関しては、第8号議案事業・競技・ハンディキャップ合同委員会決定事項の件で報告致したい。

## 1. 平成23年度全日本会場

|                   | 担当地区 | 開催会場            | 開催日程(案)           |
|-------------------|------|-----------------|-------------------|
| パ選 (男子)           | 西日本  | グランドオーク (兵庫県)   | 23. 6. 8(水)～ 9(木) |
| パ選 (女子)           | 西日本  | ヘアズハウジャハン (滋賀県) | 23. 6. 1(水)～ 2(木) |
| ミッドアマ(男子・女子)      | 東日本  | ラ・ヴィスタ (千葉県)    | 23. 9. 7(水)～ 8(木) |
| シニア(男子・ミッドシニア・女子) | 東日本  | 榛名の森 (群馬県)      | 23.10.19(水)～20(木) |

## 2. 平成23年度地区決勝会場

|                       | 東日本                       | 中部日本               | 西日本                        | 北海道・青森             |
|-----------------------|---------------------------|--------------------|----------------------------|--------------------|
| パ選 (男子)               | (A地区)<br>イーストウッド<br>(栃木県) | 名古屋広幡<br>(愛知県)     | (関西)<br>ダンロップ<br>(兵庫県)     | 随縁 恵庭<br>(北海道)     |
|                       | (B地区)<br>榛名の森<br>(群馬県)    |                    | (中国)<br>奥津<br>(岡山県)        |                    |
|                       | (C地区)<br>千葉よみうり<br>(千葉県)  |                    | (四国)<br>コート・ベール徳島<br>(徳島県) |                    |
|                       | —                         |                    | (九州)<br>セントレジャー鞍手<br>(福岡県) |                    |
| パ選 (女子)               | 那須野ヶ原<br>(栃木県)            | 名古屋広幡<br>(愛知県)     | アオノ<br>(兵庫県)               | —                  |
| ミッドアマ<br>(男子・女子)      | (A地区)<br>下館<br>(茨城県)      | 森林公園<br>(愛知県)      | 武庫ノ台<br>(兵庫県)              | セントレジャー札幌<br>(北海道) |
|                       | (B地区)<br>東京よみうり<br>(東京都)  |                    |                            |                    |
| シニア<br>(男子・女子・ミッドシニア) | 三井の森軽井沢<br>(長野県)          | 正眼寺<br>(岐阜県)       | 北神戸<br>(兵庫県)               | —                  |
| ダンロップ杯                | 市原・柿の木台<br>(千葉県)          | 名古屋港<br>(愛知県)      | ダンロップ<br>(兵庫県)             | —                  |
| ブリヂストン杯               | 千葉よみうり<br>(千葉県)           | グランシエロ<br>(三重県)    | 西神戸<br>(兵庫県)               | —                  |
| グランドマンズリー             | 八千代<br>(千葉県)              | アリジ<br>(三重県)       | 姫路<br>(兵庫県)                | —                  |
| ドリーム・エイジ              | 未定                        | セントレジャー亀山<br>(三重県) | 未定                         | —                  |

### 第6号議案:PGS 名義後援承諾の件

丸山総務委員長より、第6号議案「PGS 名義後援承諾の件」について、下記各競技主催者より PGS 名義後援依頼があり、後援競技会のガイドライン規則第6条により承認した旨の報告、並びに追認要請があり原案通り議決承認された。

| 競技名  | 主催者等           |
|--|----------------|
| 1. 第2回ウッドフレンズレディース<br>アマ・プロ選手権競技 女子アマチュアの部 | 森林公園ゴルフ場運営株式会社 |
| 2. 第45回ジャパンゴルフフェア2011                      | 社団法人日本ゴルフ用品協会  |

#### 第7号議案:全日本参加選手に対し宿泊パック紹介の件

事務局より、第7号議案「全日本参加選手に対し宿泊パック紹介の件」について、近畿日本ツーリスト(株)からの、全日本参加選手に対する交通手段、ホテル予約等の宿泊パックの提案を受けて、下記の通り提案がなされ審議の結果原案通り議決承認された。

##### 【報告概要】

- 平成22年度シニア全日本より導入
  - 全日本開催案内で申込 HP アドレスを紹介。
  - 申込は参加選手と同社の直接契約。協会・開催コースはノータッチ。
  - 地区決勝でも利用可能。
- 当面の紹介先 :近畿日本ツーリスト(株)
  - 将来的には3社程度を検討。
- 協会メリット :賛助会員見込先(先方の取引メリット如何)

#### 第8号議案:事業・競技・ハンディキャップ合同委員会決定事項の件

丸山総務委員長より、第8号議案「事業・競技・ハンディキャップ合同委員会決定事項の件」について、平成23年度以降の競技に関して、シニア3競技の一本化、地区決勝・全日本の2日間化等を始めとする合計21の議案に関して、大変熱心かつ厳しい議論が展開され、有意義な会議となった旨の報告があった。

続いて事務局より、事業・競技・ハンディキャップ合同委員会の決定事項について、下記の通り提案がなされ、審議の結果原案通り議決承認された。

##### 【報告概要】

- パ選をはじめとする選手権競技エントリー数減少の歯止め対策
  - 平成23年度よりパ選、ミッドアマの男子予選競技の全加盟コース開催を義務化。
  - 平成23年度東日本ミッドアマB地区決勝をメンバー制コース(千葉よみうりカントリークラブの姉妹コースである東京よみうりカントリークラブ)にて開催。
- パ選・ミッドアマ・シニア選手権の2日間競技
 

平成23年度より地区決勝、全日本を、初日カットなしの36ホールストロークプレーにて開催。
- 競技一本化に伴うシニア・女子シニア・ミッドシニアの地区決勝・全日本出場者数
  - 地区決勝進出枠:各地区競技委員長に一任
  - 全日本進出枠 :事務局に一任
- 中部日本女子パ選の予選・地区決勝開催方法
 

平成23年度より1日目に予選競技、カット後2日目を地区決勝として、同一会場にて開催。
- 北海道・青森地区選手権競技再編
  - 平成23年度以降女子パ選、シニアは廃止し、パ選男子とミッドアマ男子の2競技のみを開催。
  - 今後2年間でパ選男子200名、ミッドアマ男子150名の集客実現を条件に、北海道・青森地区での単独開催とし、2年後に再議論する。
- PGSドリーム・エイジゴルフ大会の参加料引下げ変更
  - 従来の参加料3,500円の内、事務費1,000円(ポスター・申込書等制作費)を協会負担とし、来年度以降2,500円に引下げ変更。
  - 開催コースは従来通り2,500円/人×参加人数の予算で、参加賞・賞品・パーティ費用を手配する。但し、将来的に採算ラインと見込まれる参加者2,000名規模の大会となった場合には、事務費の協会納付(1,000円)を復活する。

事務局の報告後、島田専務理事、丸山事業委員長より下記の補足説明が行われた。

**【島田専務理事】**

審議の結果、ドリームの参加料を3,500円から2,500円に引き下げた。将来参加人数が増え黒字化した場合、改めて事務費の協会納付を復活する。

なお、ドリームの収支を協会会計に反映させる必要から、収支報告書は、従来通り事務局宛提出願いたい。

**【丸山事業委員長】**

パ選女子に関して、中部地区の場合各ゴルフ場の予選が成立しないところが非常に多く、ブロックに分けて行ったが、やはり女子の場合集まりが悪い。改善策として1日目を予選とし（カットあり）、2日目を地区決勝方式に変更する。

**II. 報告事項**

**第1号議案:平成22年度シニア参加申込人数(中間報告)の件**

事務局より、第1号議案「平成22年度シニア参加申込人数(中間報告)の件」に関して、下記の通り、また平成22年度スクラッチ3競技の参加申込人数に関して、下記の通り報告があった。

**【シニア】**

1. 全体感:前年同時期比で206名、6.2%減
  - ・21年度(8/20 現在) 3,297名
  - ・22年度(8/20 現在) 3,091名
2. 地区別:西日本地区ミッドシニア:362名(前年比38名増)  
 その他地区3競技 :前年比減

**【平成22年度スクラッチ3競技参加申込人数】**

単位:人

|       | 男子     | (前年度比) | 女子    | (前年度比) | ミッド   | (前年度比) | 合計     | (前年度比) |
|-------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|
| パ選    | 7,821  | ▲569   | 979   | ▲ 67   | —     |        | 8,800  | ▲636   |
| ミッドアマ | 5,333  | +208   | 637   | ▲ 5    | —     |        | 5,970  | +203   |
| シニア   | 1,694  | ▲163   | 394   | ▲ 41   | 1,003 | ▲ 2    | 3,091  | ▲206   |
| 合計    | 14,848 | ▲524   | 2,010 | ▲113   | 1,003 | ▲ 2    | 17,861 | ▲639   |

(注)シニアは8月20日現在(中間報告)

**第2号議案:シニア地区決勝・全日本エントリー枠割当の件**

丸山事業委員長より第2号議案「シニア地区決勝・全日本エントリー枠割当の件」に関して、下記の通り報告があった。

**【報告概要】**

例年シニアの全日本割当は、時節柄日没の影響を受けるため、エントリー人数をどう見込むかが大きな課題であったが、本年度は開催コースと協議を密にし、結論的にシニア201名、女子シニア64名、ミッドシニア158名の合計222名と、他競技並みのエントリー人数とした。

**1. 地区決勝**

各地区競技委員長の裁定により、下記の通り決定。

- (1) 東日本地区 :男子シニア185名、女子シニア68名、ミッドシニア115名、計368名
- (2) 中部日本地区 :男子シニア198名、女子シニア45名、ミッドシニア152名、計395名
- (3) 西日本地区 :男子シニア203名、女子シニア50名、ミッドシニア159名、計412名

**2. 全日本**

|             |   |
|-------------|---|
| (1) エントリー人数 | 男子シニア 201名<br>女子シニア 64名、ミッドシニア 158名 =合計 222名                    |
| (2) 地元開催枠   | 男子シニア(180名の10%) →西日本地区に18名<br>女子シニア・ミッドシニア(200名の10%) →東日本地区に20名 |

|            |  |
|------------|--|
| (3)シード選手   | 男子シニア 1名、女子シニア 1名、ミッドシニア 1名                  |
| (4)一般枠     | 男子シニア 180名<br>女子シニア 57名、ミッドシニア 143名 =合計 200名 |
| (5)2日目進出人数 | 男子シニア 120名タイ<br>女子シニア 40位タイ、ミッドシニア 100位タイ    |

(注)全日本女子シニア・ミッドシニア[会場:那須野ヶ原カントリークラブ(栃木県)]については、下記事由によりエントリー枠を例年競技より拡大した。

1. 那須野ヶ原カントリークラブは27ホール使用。
2. 女子シニア・ミッドシニアは基本的に別競技。
3. 開催コースの営業的側面配慮。
4. かつ日没時間を勘案し222名とした。(欠場率30%、実質出場者数約160名を予想)
5. 2日目進出率:前年度と同率63%。

【男子シニア全日本エントリー枠】

単位:人

|      | 東  | 中部 | 西  | 北青 | 合計  |
|------|----|----|----|----|-----|
| 開催地枠 | 0  | 0  | 18 | 0  | 18  |
| シード  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1   |
| 一般枠  | 75 | 48 | 57 | 2  | 182 |
| 合計   | 75 | 48 | 76 | 2  | 201 |

【女子シニア・ミッドシニア全日本エントリー枠】

単位:人

|      | 女子シニア |    |    |    | ミッドシニア |    |    |     | 合計  |
|------|-------|----|----|----|--------|----|----|-----|-----|
|      | 東     | 中部 | 西  | 合計 | 東      | 中部 | 西  | 合計  |     |
| 開催地枠 | 6     | 0  | 0  | 6  | 14     | 0  | 0  | 14  | 20  |
| シード  | 0     | 1  | 0  | 1  | 0      | 1  | 0  | 1   | 2   |
| 一般枠  | 28    | 13 | 16 | 57 | 47     | 43 | 53 | 143 | 200 |
| 合計   | 34    | 14 | 16 | 64 | 61     | 44 | 53 | 158 | 222 |

【質疑応答】

森理事(アオノ):

那須野ヶ原で行われる女子シニア・ミッドシニアは27ホールをどの様に使用するのか。

石井副会長:

27ホールの内男女で18ホールずつ使用。9ホールは重複するがスタート時間をずらすことでスムーズに進行可能と判断している。表彰式を同時か別開催かは検討中。

第3号議案:平成22年度関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権参加申込状況の件

事務局より、第3号議案「平成22年度関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権参加申込状況の件」について、下記の通り報告があった。

【参加者数推移】

単位:人

|        | 男子 | 女子 | 合計 | 前年度比 |
|--------|----|----|----|------|
| 平成19年度 | 34 | 17 | 51 | —    |
| 平成20年度 | 25 | 8  | 33 | ▲18  |
| 平成21年度 | 32 | 12 | 44 | +11  |
| 平成22年度 | 30 | 8  | 38 | ▲6   |

第4号議案:PGSニュース第77号発刊の件

事務局より第4号議案「平PGSニュース第77号発刊の件」について、平成22年9月15日を目処に発刊予定である旨報告があった。

## 第5号議案:ゴルフ場利用税廃止署名運動(中間報告)の件

事務局より、第5号議案「ゴルフ場利用税廃止署名運動(中間報告)の件」について、下記の通り報告があった。

### 【報告概要】

1. 集計期間 :7月1日(木)～7月31日(土)
2. 署名者数 :315,655名(目標200万人:達成率 16%)

事務局の報告後、島田専務理事より下記補足説明が行われた。

### 【島田専務理事】

一昨年の日本ゴルフサミット会議の中で、浅井会長が「署名運動をやるべきである」旨の発言をされた背景があり、当協会加盟コースは目標2,000名以上の達成を改めてお願いしたい。

## 第6号議案:USGA スロープシステムの件

事務局より、第6号議案「USGA スロープシステムの件」について、JGAの動向に関して書きの通り報告があった。

### 【報告概要】

1. 2012年度より全米ゴルフ協会(USGA)が所有する USGA スロープレーティングシステムに移行。「より公平で より使い易い」HDCP システムへの移行との観点から、世界約70カ国で採用。
2. 今後の詳細内容やスケジュールは、USGA との協議の上進める。現在詳細内容や、具体的なスケジュールは未発表。
3. USGA 提供のコースレーティング・システムマニュアルの和訳に誤訳等の間違いが多数あり、現在 JGA が訂正中。
4. 8地区連盟は詳細が決定していないため様子見の状況。当協会としては JGA 塩田事務局長と連絡を密にし、早めに情報の提供を受け8地区連盟等の動向をよく見た上で対応する。

### 【質疑応答】

浅井会長:

移行する場合に我々には何が起きるのか。費用面は如何か。

島田専務理事:

コースレート査定方法に簡略方法が採用されるかは不明だが、査定は行う必要があり再査定費用は発生すると思われる。

菅野理事(八千代):

近々15年経過の再査定を受けるが、'12年の移行時にまた費用がかかるのか。

島田専務理事:

移行時に JGA がどの様に考え実施するのか、具体的にはわからない状況。

石井副会長:

USGA はプレーをせずに査定業務を行っており、現在の日本の査定方法と比べるとアウトに感じると査定委員は言っている。最近移行したオーストラリアの場合、机上で数値を計算し移行した事例もあり、日本でもこの方法を取り入れ、その後15年経過時に実際に査定を行い更新する形になるのではないかと委員から聞いている。

浅井会長:

'12年までにコースレート査定を行うコースが、無駄な費用をかけずに出来るよう JGA に申入れを行うべき。

島田専務理事:事務局より申入れを行う。

## 第7号議案:シニアアンケート実施の件

事務局より、第7号議案「シニアアンケート実施の件」について、下記の通り報告があった。

### 【報告概要】

平成20年度、及び平成21年度は予算編成会議の議論(シニア競技の収支、参加料、参加人数減少問題等)を踏まえてシニアアンケートを実施したが、本年度も平成23年度以降シニア競技の統合一本化、女子・ミッドシニアの2日間競技化による競技参加意欲等、今後の競技運営の参考に資するため、シニアアンケートを実施。

#### 【質疑応答】

浅井会長:

過去の調査と同内容か、他のゴルフ団体でこの様な調査をしているのか、我々の調査がゴルフ関係者の参考になる様なアンケートでなければならない。公益法人となり、継続的に行っているこの調査で今後シニアの活性化に繋がるような中身を見せて欲しい。JGAに意見ができるような分析の仕方を考えて欲しい。

島田専務理事:

シニアアンケートは平成20年、21年、今年と3年間継続して行っている。今回の中心は年齢層がどう変化しているのか、また2年前の調査で初参加者30%という結果が出ているが、初参加者の参加動機は何かという部分にウエイトを置いたアンケートとした。パ選でもアンケートを何回か実施しており、結果は協会ホームページ、PGS ニュースに公開している。何れこれらのアンケート結果を集大成して、競技参加者がどうなっているのか纏めあげたい。

平成23年度以降の調査・研究事業として、アマチュアゴルファー・サイドの動態調査を継続して実施する予定。ゴルフ業界に関する調査レポートは、レジャー白書、経済産業省の3年毎に行っている統計等があるが、これらはゴルフ場サイドの実態調査で、ゴルファーサイドの継続的実態調査を全国ネットでやっている事例はなく、貴重なレポートになるものと思われる。

森理事(アオノ):

シニアアンケートに「参加のキッカケは何ですか」との質問があるが、競技に対して何を求めているかとの意味合いが弱いと感じる。本当の意味での参加動機というものを質問に加えられたら良いと思う。

島田専務理事:来年度以降アンケートを行う場合、係る観点を含めて考えたい。

#### 第8号議案:ゴルフダイジェスト スクランブル トーナメント協力依頼の件(GMAC)

事務局より、第8号議案「ゴルフダイジェスト スクランブル トーナメント協力依頼の件(GMAC)」について下記の通り報告があった。

##### 【報告概要】

ゴルフダイジェスト社は、GMAC 同様にゴルフ市場活性化を標榜して、スクランブルゴルフ大会を企画しており、GMAC に対して開催コースの募集依頼があった。

##### 1. 大会概要

(1)大会名称:ゴルフダイジェストスクランブルトーナメント2010

(2)大会組織:主催:ゴルフダイジェスト社

後援:ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)

協力:開催ゴルフ場等

(3)参加資格:4名1組でチームを構成するアマチュアゴルファー(男女問わず)

(4)競技方法:スクランブルゴルフ方式。18ホール・スクラッチによるチーム戦。

(5)試合概要:関東予選1・2・3、関西予選1・2・3⇒関東地区決勝、関西地区決勝  
⇒全日本グランプリ大会

(6)開催時期:10月から12月を予定。

(7)賞典:全日本グランプリ大会/優勝、2位、3位その他特別賞、クオリファイ賞  
予選/参加賞(全員)

##### 2. 開催コースの募集条件

(1)開催コースの負担はコースの貸与のみ。(送客選手数:140名/1会場)

(2)参加者募集・告知、選手への案内、予選当日の運営、競技成績の管理、賞品手配



等運営一切は同社担当。

この後、島田専務理事より下記の通り補足説明が行われた。

**【島田専務理事】**

ゴルフダイジェスト社がスクランブル大会を行っており、GMAC に対して開催会場があれば幹旋して欲しい旨依頼があった。GMAC はスクランブルゴルフの活性化について活動を展開しており、斯様な大会は後援していきたいとの意向である。希望するコースは事務局まで一報願いたい。本件はゴルフダイジェスト社と希望コースとの直接契約との位置付けである。

**第9号議案:ステップアップ・アクションプランの件**

島田専務理事より、第9号議案「ステップアップ・アクションプランの件」について、以下の通り報告があった。

**【報告概要】**

1. 以下の問題意識から、事務局試案のステップアップ・アクションプランを作成した。
  - (1) 公益社団法人認定、平成22年度第1回理事会における浅井会長発言
    - ①襟を正すは正し王道を歩む
    - ②当協会の評価、地位向上施策
    - ③競技の一層の活性化推進
    - ④JGAハンディキャップの普及振興
    - ⑤身障者ゴルフ活性化への取組
    - ⑥以上を実現の為にはタイムスケジュール作成が不可欠
  - (2) 森田監事発言
    - ①健全な財務体質の実現
    - ②事務局体制の整備・構築
  - (3) 一部の加盟コースより、公益法人化に伴い協会の今後の目指す、あるいは進むべき方向性について、何らかの指針が必要との意見。
2. ステップアップ・アクションプランの内容は以下の4区分構成。
  - (1) 公益法人化関連
  - (2) 合同委員会の議論を踏まえた競技活性化関連
  - (3) 財政健全化問題
  - (4) 総務関連
3. あくまで事務局試案であり、この内容の実現についてはその都度理事会に附議の上、推進する。

以上を以って、本社員総会の全議題を審議し、いずれも原案通り承認された旨の報告後、島田議事進行役が議場に対して議事進行の協力に謝した。

**7. 浅井会長閉会挨拶**

次いで、浅井会長より下記の通り閉会挨拶がなされた。

極めてスムーズなディスカッションに感謝します。これから公益法人としてやるべきことを、アクションプランをベースに、これから2年かけてしっかりと作って行きたいと思えます。

私自身ゴルフサミットに出席していますが、感想として、それぞれゴルフ業界の中でも団体毎に取り組んでいる中身に違いがありますが、本当にゴルフを生涯スポーツとして普及して行く上で、どの団体が真剣に考えているかと考えたら、正直なところ何処もないというのが私の実感です。今度オリンピックがあるから、ワールドカップもそのうち来るだろうから、そのためには今から何をすべきかを何処が考えるのか、何処も考えていません。

将来のゴルフ事業の在り方、あるいはゴルフ人口の掘り起し、競技会のあり方という観点から真剣に考える団体がなく、それが残念でなりません。我々には柔軟性・決断力があり何事も自

由に出来る良いポジションにいます。公益法人化を機に、我々自身の経営をしっかりとすることは勿論一番大事なことです、それを通して今後の日本のゴルフのあり方が考えられる様な、色々な情報の発信源になる様な活動をする必要があります。

スポーツ団体第1号として公益法人を認可されたことを契機として、我々自身は従来とは少し違う観点からどうしたら世の中のお役にたつのか、種々考え直していけば良いと思います。非常に難しい問題も沢山ありますし、我々のスタッフ、能力で出来ないこともあると思いますが、問題点さえ明確になれば、それはそれで解決方法はある訳です。その様な事を計画的にキッチリと進めていけば少しはお役にたてるし、結果として PGS、パブリックゴルフ場がもう少し暖かい目で見てもらえる様な、地位向上が図れるのではないのでしょうか。今後もその方向で進めて行きたいと思いますので、皆様方のご協力を宜しくお願いします。

## 8. 閉会宣言

浅井会長が平成22年度第3回理事会・第3回合同委員会の閉会を宣言し、終了した。

以上

上記の議事を確認するため、議長及び議事録署名人は、次の通り署名押印する。

平成22年9月2日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

議長 浅井 光昭 印

議事録署名人 森田 敬 印